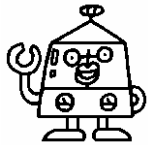


## 赤ちゃんは、おなかの中で呼吸こきゅうをしているの



赤ちゃんは、母親の体内では、空気をすったりはいたりする呼吸はしていないよ。別な方法があるのさ。

呼吸は、体の中に必要な酸素さんそを取り入れ、いらなくなった二酸化炭素にさんかたんそを出す  
空気中で生きている動物は、たいてい、空気（酸素）をすって二酸化炭素をはき出す呼吸をしています。動物が生きて活動するのに、酸素はなくてはならないものですし、活動すると体内にできてくる二酸化炭素は、体内に残っていると害になるからはき出すのです。

呼吸をすると、口 はい 肺を通して酸素が血液にとりこまれ、血液が全身に酸素を運び、全身から集めてきたいらぬ二酸化炭素は、肺ではく息にはき出されます。

赤ちゃんは、へそのおから必要な酸素を受け取り、二酸化炭素を出している

お母さんの体内にいる赤ちゃんは、たいばんというところを通して、へそのおでお母さんの体とつながっています。そして、たいばんにはお母さんの体内の動脈や静脈とよばれる血管がつながっています。

動脈には、酸素や栄養えいようぶん分をたくさんふくんだ血が流れていて、体内にそれらを配る役目をしています。静脈は、体内にできたいらぬものを集めて運ぶ役目をする血管です。

赤ちゃんは、必要な酸素をたいばんへそのおを通して取り入れ、体内にできた二酸化炭素をへそのおたいばんから、お母さんの静脈にわたします。だから、とくに、呼吸をする必要はないわけです。

